

残留農薬検査(平成27年度 その4)

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成25年度に検査項目の見直しを行い、農産物ごとに検査項目を設定しました。

今回は、平成27年12月から平成28年2月までに食品専門監視班より搬入された農産物等の検査結果を報告します。

1 市内産農産物

12月に搬入されたかぶの根、かぶの葉及びブロッコリー(各2検体)、こまつな、だいこんの根、だいこんの葉、にんじん及びはくさい(各1検体)、2月に搬入されたかぶの根及びにんじん(各2検体)、かぶの葉、キャベツ、ごぼう、さといも、だいこんの根及びはくさい(各1検体)の計21検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、はくさいからアセタミプリドが0.02ppm、かぶの葉からルフェヌロンが0.07ppm検出されました。このうち、かぶの葉から検出されたルフェヌロンは、基準値(一律基準値0.01ppm)を超えるものでした。ルフェヌロンはかぶへの使用は認められていないため、誤って使用した、もしくは近隣の農産物に使用したものが飛散して付着した等の可能性が考えられます。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

今回の検査で検出された農薬の概要については、4ページからの【農薬解説】を参考にしてください。

表1 残留農薬検査結果

(H27年12月～H28年2月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
市内産農産物						
かぶの根	横浜市	4	0			
かぶの葉	横浜市	3	1	ルフェヌロン	0.07	*0.01
キャベツ	横浜市	1	0			
ごぼう	横浜市	1	0			
こまつな	横浜市	1	0			
さといも	横浜市	1	0			
だいこんの根	横浜市	2	0			
だいこんの葉	横浜市	1	0			
にんじん	横浜市	3	0			
はくさい	横浜市	2	1	アセタミプリド	0.02	0.5
ブロッコリー	横浜市	2	0			

*0.01:一律基準値

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	検出			農薬名	検出 限界 (ppm)	検出		
		A*1	B*1	C*1			A	B	C
BHC(α,β,γ及びδの和)	0.005	○*2	-*2	-	エチオン	0.01	○	○	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和*3)	0.005	○	○	○	エトプロホス	0.005	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	エトリムホス	0.01	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	エポキシコナゾール	0.01	-	-	○
アザメチホス	0.01	○	○	○	エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	-	○	-
アセタミプリド	0.01	○	○	○	エンドリン	0.005	-	○	-
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	オキサミル	0.01	○	○	○
アニロホス	0.01	○	○	○	オキシカルボキシ	0.01	○	○	○
イプロバリカルブ	0.01	○	○	○	オリザリン	0.01	-	○	○
イプロベンホス	0.01	○	○	○	カズサホス	0.01	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	カフェンストール	0.01	○	○	○
インダノファン	0.01	○	○	○	カルバリル	0.01	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	カルプロパミド	0.01	○	○	○

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出 限界 (ppm)	A	B	C	農薬名	検出 限界 (ppm)	A	B	C
クミルロン	0.01	○	○	○	ピリフタリド	0.01	○	○	○
クロキントセツ-メキシル	0.01	○	○	○	ピリミカーブ	0.01	○	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	○	ピリミホスメチル	0.01	○	○	○
クロマフェノジド	0.01	○	○	○	ファミキサドン	0.01	○	○	○
クロリダゾン	0.01	○	○	○	フェニトロチオン	0.01	○	○	○
クロルピリホス	0.01	○	○	○	フェノキシカルブ	0.01	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	フェリムゾン	0.01	○	-	-
クロルフェンソン	0.01	○	○	○	フェンアミドン	0.01	○	○	○
クロルフェンビンホス	0.01	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○
クロロクシロン	0.01	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	フェントラザミド	0.01	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	フェンバレレート	0.01	-	○	○
ジウロン	0.01	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	-	○	○
ジオキサベンゾホス	0.01	○	○	○	フェンプロパトリン	0.01	-	○	○
ジクロフェンチオン	0.01	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	ブタミホス	0.01	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	フラメピル	0.01	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	-	フルシトリネート	0.01	-	○	○
シフルトリン	0.01	-	○	○	フルバリネート	0.01	-	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	-	フルフェナセット	0.01	○	○	○
シペルメトリン	0.01	-	○	○	フルフェノクシロン	0.01	○	○	○
ジメチリモール	0.01	-	-	○	フルリドン	0.01	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○
スルプロホス	0.01	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	プロピザミド	0.01	-	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	ヘキサフルムロン	0.01	○	-	-
チアクロプリド	0.01	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	-	-
チアトキサム	0.01	○	-	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○
テトラクロルビンホス	0.01	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○
テトラジホン	0.01	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○
テブチウロン	0.01	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	ペントキサゾン	0.01	○	-	-
テフルトリン	0.01	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	-
トラルコキシジム	0.01	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○
トリチコナゾール	0.01	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○
トリフルムロン	0.01	○	○	○	メタベンズチアズロン	0.01	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○
ノバルロン	0.01	-	○	○	メビンホス	0.01	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	モノリニュロン	0.01	○	○	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	ラクトフェン	0.01	○	○	-
ビフェントリン	0.01	○	○	○	リニュロン	0.01	○	○	○
ピラクロストロビン	0.01	○	-	-	リンデン(γ -BHC)	0.002	○	○	○
ピラゾリネート	0.01	-	-	○	ルフェヌロン	0.01	※	○	○

*1 A:かぶの葉、こまつな、だいごんの葉、にんじん及びブロッコリー B:かぶの根、キャベツ、だいごんの根及びはくさい C:ごぼう及びさといも

*2 ○:実施、-:実施せず、※:2月搬入のかぶの葉のみ実施

*3 DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【農薬解説】

○アセタミプリド

『モスピラン』などの商品名で販売されている殺虫剤で、広範囲の害虫に対して効果があります。今年度実施した検査において、こまつな(市内産)及びトマト(市内産・国内産)からも検出されました。

○ルフェヌロン

『マッチ』などの商品名で販売されている殺虫剤で、幼虫の脱皮を阻害します。鱗翅目害虫(コナガ等)の幼虫やチャノキイロアザミウマの幼虫に対して高い防除効果を示し、効果は長期間持続します。キャベツ、はくさい、なす、トマト等の農産物に適用があります。

ADI(一日摂取許容量:人が一生涯にわたって毎日食べ続けたとしても、健康に悪影響を与えないと考えられる量)は0.014mg/kg体重/日です。今回かぶの葉から検出された値(0.07ppm)で換算すると、体重50kgの人が、このかぶの葉を洗わずに毎日一生涯10kg食べ続けても、健康への影響はないと考えられます。

※参考文献

- ・社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック2011年版
- ・食品安全委員会ホームページ

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】